

目黒区男女平等フォーラム 2023



▲講演会

フォーラムを運営した
目黒区男女平等・共同
参画センター運営委員
(第16期)のメンバー



目黒区男女平等フォーラム2023は、令和5年11月11日(土)、「これってハラスメントなの～?」をテーマに、午前午後の2部構成で中目黒スクエアを会場として開催されました。

DVD上映会
(10時～12時)

「当事者が望むアライについて考えてみませんか？」
DVD2本を観賞後フリートーク

講演会
(14時～16時)

「子ども大人もスポハラから守る！」
～スポハラ(スポーツハラスメント)って何？
講師：三輪 記子(みわ ふさこ)弁護士

午前の部は、人権に関する課題として注目されているLGBTをテーマとしたDVD作品2本を観賞しました。

まず、1本目は「カランコエの花」です。

物語は、主人公が在籍する高校のあるクラスだけに、唐突に行われた「LGBTについて」の授業から始まります。するとクラスに波紋が広がります。後半、友人の突然の性自認告白を、主人公は受け入れられず戸惑います。そんな複雑な心の揺れをさわやかに訴えかけたすばらしい作品でした。

2本目は「トランスジェンダー」～末悠(みゆ)・彩(さや)・歩夢(あゆむ)～です。

本作品は、性別への違和感から悩みを抱えた青春時代を過ごし、大人になって本来の性自認に従い、性別適合手術を行うなどした3人のトーク形式によるドキュメンタリー映画です。このうち2人は戸籍も変更しています。それぞれの親への告白場面もていねいに描かれていて、その現実を受け入れ、一番の理解者として支えるご両親も登場します。登場する皆さんの笑顔が素敵で、本当に応援したくなる作品でした。

DVD観賞後、運営委員がファシリテーターを務め、会場の参加者とフリートークをしました。「LGBTの知識だけでは、本当の理解は難しい」「応援するとか支援するとかではなく、当事者と向き合い共感し合うことが大切だ」等の活発な意見交換がありました。どちらの作品も男女平等・

共同参画センター資料室の所蔵ですので、視聴することが出来ます。

午後の部は、「子ども大人もスポハラから守る」をテーマにスポーツ界におけるハラスメント問題に数多く携わってこられた三輪記子(みわ ふさこ)弁護士を講師にお迎えして、講演会を行いました。

「スポハラ(スポーツハラスメント)」とは、スポーツの現場において、『暴力』『暴言』『ハラスメント』『差別』など、安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為のこと」と定義されています。勝利至上主義や、行き過ぎた指導による体罰や暴言などが、スポーツを楽しむたい子どもたちやアスリートたちに影を落とす実態が数々紹介されました。講師「自身の学生時代の体験談やスポハラの定義やスポーツ界における実態解説の後、「スポハラが起きたらどうするのか」について、事実を立証できるか、どこに相談すればいいのか、などをアドバイスしていただきました。場合によっては専門家に相談すること、そして最後に大人になってもスポーツを楽しんでほしいと結ばれました。

講演後の質疑では、参加者からスポーツ指導者の研修制度の必要性を問う意見が出たり、参加者のご自身の体験談などを話されたりするなど、関心の高さがうかがわれる講演でした。

